

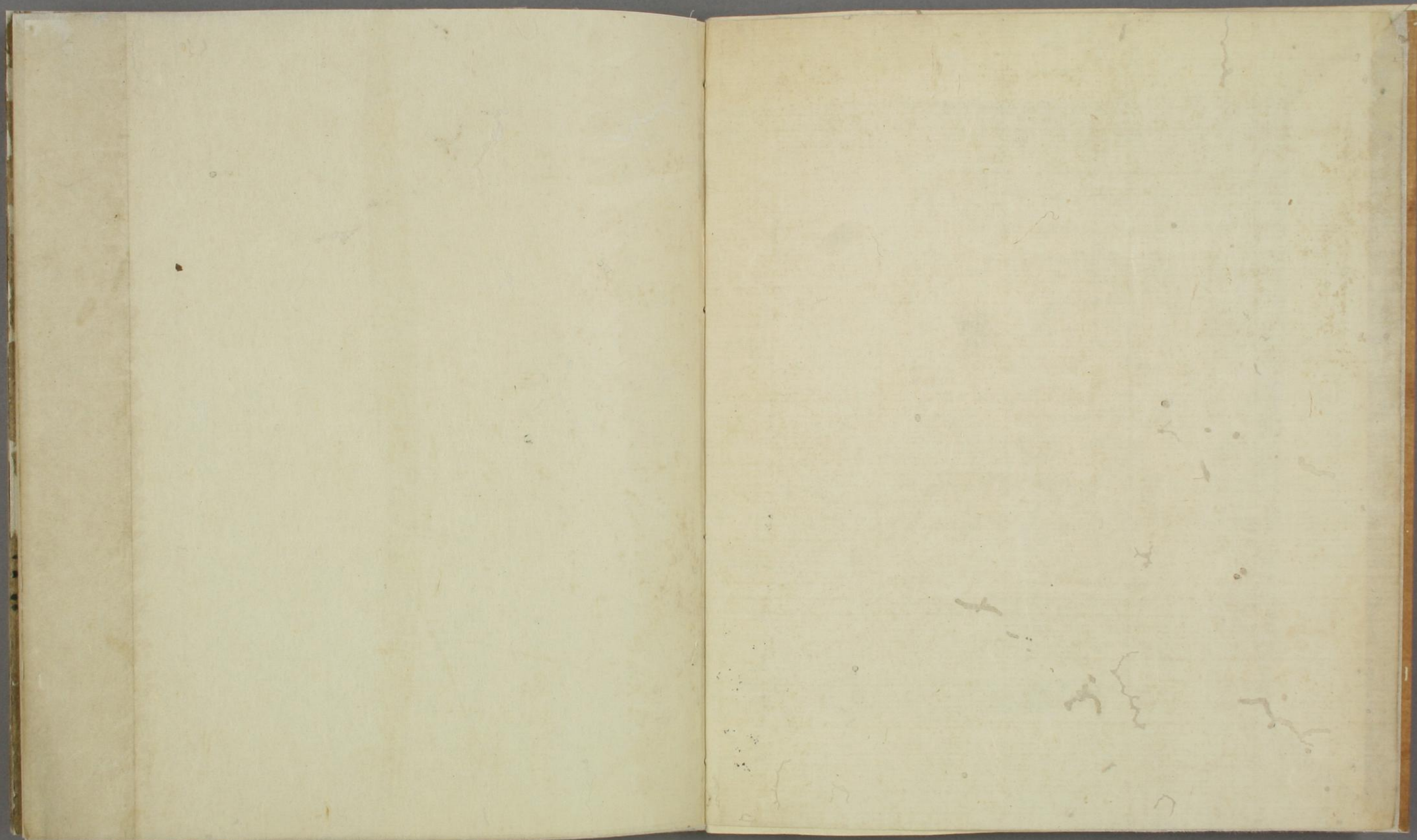
三略彙編

卷六
完



服部文庫
417
1958





128

實政十年
壬午
春
書
日

特
117
1958

黄石公三略序 并注

兵書曰者周代三書之定公豆公孫子司
馬法尉僚子三略亦韜太宗問各其行漢
代三百廿二家之調于唐代三十三家之撰
于兵書者トス武說六宋代朱眼ト云者七書
之定今ト云委細之誦義身見又ハ中ニ毛亦韜
三略ハ太公望カ記スル書也然共三略ヲ黄石公
カ書ト云テスルシク在ク案スル三前漢張良傳云
張良常楚國ノ下邳ト云所據ツク之ノ上ハ
老父ニ行逢ヌ馬上ヨリ人ニ下履ヲ落テ張良ニ
其履取テ得サセヨト云間張良是ヲ打擲セ

思しけるカ老父は故にソカ地ノ下ヲリテ履ヲ取
る上ニカセタリケル亦一方ノクツシ落テ取テ子セヨト
云ニ方共ニ死テカセテ行遠テ一里計メテカケ
モトニ張良ヲ語テ曰今日ヨリ五日メノ未明ニ地
ノ下ニ来シ兵法ヲ教ヘント云テ行方ニラスルニ養
奇特ニ思ヒ五日メ未明ニ行ケシ老父ナキ以テ待
ルカ汝ヲソク来タリ又五日メ来シトテ追返スル
寅時ニ行老父又前ヨリ行此度モ追返ス又五日メ
来シト云夜半前ヨリ以テ老父悦テ一表ノカ
与テ則此書ヲ老父認テ我北方穀城山下云山ノ
麓ニ有ル黄石公トテサリ又張良此書ヲヒマカ
シテ天公望カ書メ是ヲ沛公教テ天下ニ啓シルアリ

本公望カ老父ト世ニツクハ見テ黄石公ヨリ知ル
クニカラスト云此書ニ略中略下略トテニ名ツケ
ル心ニ思サリトテハカリトヨクニ謀トハ法身報
身應身ノ三ハ備テ所濟惠ニモ夏ヲ本トス
人全十四代仲表トテ皇ト申ハ日本武尊オトニ
子ニテカハシニス近江國ヨリ長門國豊浦郡ニ
シ御在位九年ニテ崩御アリテ後尊日本武尊ヨリ
夏ヲ得玉ニ餘秘セカ為焼テ酒ニ灰ヲキミ
メニテ以来本公後カシ神宮白羊右ト申ハ仲表
天皇ノ后ニテカハシカニ三韓ヲタイラケテ下
仲表ノ思カ
カスルヲ成就アラカ為即位カシテ新羅百濟
ノ三韓ヲタイラケテ筑前國ニカニ群ニテ皇子誕生アリ

應神天皇是神皇天皇三皇各ヲ成燒千キミタカ
嬪ヨリ生シ玉ヒタルヨリ人備三所トカ然クハ備付種
人義有トイテ先此理肝安キ去行今世迄軍神
ト成三三三三略ノカヲ旗ノ銘ニキキル一モ軍ノ守
神ニ千三三三三故キ世三三此理ヲ思准軍ヲ不知スヘ
キヨリ則ラ矢ハ一旦勝更ヲ得共永代治世成カ
クカラシ者ヤヤ千三三三周ノ文主父公望ヲ師トメ天下
ノ主トナリ玉イ武王三三三政道キヒ三三三下大公モ三國
ノ主トナシ千目出カカリテ師事ナリ

三略卷之上

夫主將之法務饒乎莫雄之心主將ト夫將
ノ心ヲ務ト

極乎心也莫雄トハ千心アルヲ莫ト云カ心有雄
ト云造次顛沛油断 賞禄有功通志於衆故
ナキ心ヲ取トナリ

上衆同好麻非不成上衆ト好麻ト非不成ト 軍忠者ヲ切ト云有功ト軍
大將之法名也志ヲ流トウストハ衆後同心ノ一好
ト公取キ国ヲ 上衆同好麻非不願上衆ト好麻ト非不願ト 上不共一味を前
知行ルナリ

英

カ多クテト
治國安家得人也
亡國破
力加功ヲ支
理ニテナリ

家失人也
令氣之類咸願得其
スルカ理ニテナリ

志
今氣類類トシテ得ル者相友形有非情
中本サ柳緑花紅丸情アリ況ハ人トメ所

好クメ奉ムモ又ハ右ハ恩ノ為ニシテ余ハ義ニ依
テ下云リ衆ノ依テ志ヲ立テ大將ノ法タルニトナリ

軍議曰柔能制剛強能制弱
柔トハ和カク者
剛トハシキ者

弱トハシキ者強トハ非レテ法レタル者
柔者徳
制トハ止ルナリ取入ルハヤルニテラスマナリ

也剛者賊也
柔剛強弱ハ善惡ヲ云柔徳ト論
詔曰徳不孤心傷有ト云リ柔ト弱トハ

似ル者ナシ其柔ハ思柔有テ和テ者弱トハ生カレテ
又キト云善提薩埵利根大教
弱者人々之助

也強者怨之賊也
生カレメ弱者有テ又人心
有テ合カスルヲ助ルト云

強ハメテ攻ル所ト非道ヲ好ム者其身ト終ルハ
亡者剛非クシテ柔強ハ賊海賊夜討途途柔ト云

柔有テ賊殺剛有テ賊殺
柔ハ殺ルハアリトハ和ナル
心知リ降参人多クシハ今

謀ハ對テ破テ所ト味方弱所ト云カクハ威勢ヲ放ト

弱有モ有用リ強有モ取ル加ハ兼ニ此ノ四者ヲ而制ス其宜ニ

。虎口

一。隠者トシテ者モ人教ニ用ニ立テ者ハ強モ加ルトハ弱キ
木口ニ加ハスハ極ヲ切リ崩ス物ノ惣メ毛詩ニ思無邪ニ
三字ニ在レ傳ハ勸善懲惡四字ニ當シ書ニ欽ト云テ
周易ニ元亨ヲ利貞ノ四字ニ專ニ柔對弱ニ強ノ四字ヲ
ヲ肝要トシテ元亨ノ宜ハ其ノ宜ヲ
剛ト柔トハハ心ニナリ

端末ニ未ダ見ル人莫ク能ク知ル

天地神明ノ物ヲ推移ス是ハ變化ノ一ノ端末トハ終

人ノ分ク知ル事ハ天地神明ノ物ヲ推移ス春ノ分カリ夏ハ
アツク秋ハスシク冬ハ極ニ至リ四時ノ不定トハ此ノ分カリ

矣モ有レ七ノ欽ノ動ニ依テ變動世ニ常ニ因テ欽ニ轉化
スハ三ノ退キ有レヘシ

不レ為レ率先動而漸隨變動常ニ至トハ不定ト

是ハ其ノ極ニ至リ矢シモ欽ウセキ
分カリ則シテ隨テ進ミ退キ有レキ故ニ能ク制ス無疆

扶成天威匡正八極安定九美如此謀者為

帝王ノ師也無疆トハサカイモナク東西南北ノ如クヨクハ

カリトトリ居テカス我國人國ノ善恩ヲシ
リ天ノ威有テ九美ニテモ密シスル者ハ帝王ノ師ト
ナル東美南變西戎北狄トキモス者ハ密シトハヒソ

事

コハシメ 執者選之 我主人今執多ク者ヲハ久雨干
ヨトナリ 不詮ナリトリ合キト有干返(下)

寛者原之 却テ乱リニテカカ理ヤ 詐者察
コトナリ(下) 却テ乱リニテカカ理ヤ

之早者貴之 詐詔アリテ理非淺断スニテ干詭
今メ人詐(下)人越テ察スヘシ

早者貴スルトハ汝才ニ奉仕アリシハ 淫者抑之
主人ノ名ニ干モアカルトナリ

愚者黨法のせハ 敵者強之 夫メノ器ナシナリ
コトナリ(下) 夫メノ器ナシナリ

貧者豊之 夫人愚計能合ホル者ヲハ所行ヨクハ
人争リニ困窮カク愚ヲナス物ナシニ意悲

肝要之 欲者使之 小人思フ者使(下)トナリ 畏者
ノコトニ 何ルモ我ニ云付レヨカシ

隠之 君子ニ名ニ干セストア己ハ女ノ子ナリ 謀者近
ト有シ者其シ畏シカラスヘシトナリ

之 小人略ヲタクヲナシテハ 誑者有復之 謂ナク人
イカニモ近ケテ毎メニ事ナリ

穢言セ結句其身ノ 毀者復之 我口クメ人ヲ借
上トクツカ(スヘシトヤ) ソニル者ヲカヘ

ツサウス(下) 及者廢之 主代譜代主人シソムカ其
シト(下) 身上シ廢ス(下)廢ニ破シ

ヤフルトヨ大ニコナリ 横者挫之 横ナリトコナリ
ヘキトシ廢トセヨト 横者挫之 者ヲ云電者ナト

二天(キ)し挫トハ多クシク我アリキ式目ナト心ニテアラハ

是モ古事電元ノ類ナリ漢書中ニ益罪モ入リ

蒲者損シ人ノ米果ノアリ又シ心タケク千ヨモロシ

日モ日蝕アリ月モ空見ヨアリ敵者拓之

世上元蒲アリナシ字殊似ル者下云

敵トハハ敵スルナシ累年服者活シ服ト云

内ニ年ノ歎ニテ来ルモナシ

怨有于他(行)テアルモ思アヤニツキ降者脱之

存来ノモノノカウモハフナハト云

合戦ノニニ千降キ

守固守之

獲陀塞之 切塞スツニトナリ 獲羅屯之

然ハ多難ニシ陣 獲城守之 城守守テ守テ守テ守

死ハ公ニテ命ヲシテ 獲城守之 大将是ニシ居

草是シ 獲地裂之 忠節即次第地ヲサカツニト

獲賊散之 賊ト資然ナリ 敵動伺之 敵初

ウカイイ 敵近備之 取向アリ 敵強下之 獲勢ノ初

ミルニト云 敵強下之 味方ヲ獲

ノ時志忌ニシタラウニ 敵供去之 敵下都ニテ守ニトアラ

カケリシラ矢ヲ射シ 敵供去之 敵救スニ供安ト云

テ

敵凌待

凌トハ味方ハシテ
世勢トシテ全戦ス

敵暴緩

暴トシテ
緩トシテ

敵愾

愾ハ思ハス乱トケテ

初ハ味方ハイカニモ

一面

敵睦推

睦トシテ思合テ

須奉

挫

是ヲトシテ

因勢破

味方ノ勢ノイキ

放言

言ハサレテ

四網羅

飛鳥

得而勿有

大将ノ如ク

居

屋而勿守

城ヲ攻メ

十日ヲ守

大吏

立而勿取

大将自取

為者則已

武略

有者則士

城ヲモツキ

要知

利一歩在彼為諸侯已為天子

是ハ君臣ノ

物ノ利固ヨ本トスラ臣ハ諸侯トナリ君ハ天子トナラント

云ツタル之旨早ニ准利捨テ

諸侯タルヘケトナリ使城自保人自取

シ夫將ノ保チシメ
世能祖^シ鮮能下^シ祖^ト為親

下^シ為君^ト世^ト皆^ト先知^トモ百姓^ヲ下^シ務^ニ耕^ル業^ヲ不^レ

奪^ル其^ノ時^ヲ民^ノ農^業ヲ奪^ハ五^ノ八^ノ薄^ク賦^ヲ歛^ハ不^レ遺^ス

其^ノ賦^ヲ賦^ト歛^ト年^ノ貢^ハ百姓^{ヨリ}收^ル物^ヲ薄^ク宰^ハ徭^ヲ

役^ヲ不^レ徒^ラ其^ノ勞^ヲ則^シ國^ヲ富^シ而^シ家^ヲ娛^ハ外^ニ常^ノ用^ハ賦^ヲ

國^ニ富^シ貴^シ人^ノ亦^モ多^クシ^テ然^レ後^ニ選^シ士^ヲ以^テ司^ル牧^ヲ

諸^ノ侍^ノ中^ヲ選^シ千^ノ代^ノ女^ノ藏^ヲ持^セテ^ト夫^レ賦^ヲ謂^フ士^ノ者^ハ矣

雄^也是^ハ千^ノ要^ト志^ノ矣^ト故^ニ曰^ク羅^シ其^ノ矣^ト雄^則

敵^國之^窮軍^勢多^ク下^シ敵^國矣^ト雄^者國^ノ之^幹

柱^{ナリ}下^ニ聲^ヲ言^フ家^ニ柱^ヲタ^スケ^トス^ル幹^ハ國^ノ柱^ニ家^ハ

庶^民者^國之^本庶^民ト^モ民^トヨ^ム得^ル其^ノ

幹^ヲ收^ル其^ノ本^則政^ヲ行^フ而^シ無^ク怨^ハ國^ノ侍^ト民^トシ^テ

收レ政モヨク行レ先レ後
夫用兵レ要在崇礼レ重禄

賢者ニ礼ヲ本ニシ
礼崇則智士至ル
智者ハ古ク師トト

禄重則義士輕死
智者ハ古ク師トト
存テ命ヲシ

故禄賢而不受受賤
賢人ハ礼ヲウテ

賞初不踏時則下力并敵国削ル
軍ニ大ニ節アリ

夫用人ノ尊以爵ヲ
道ヲ尊以爵ヲ

賤以賤則士自来
官ヲ望キニ似合ク友ヲナシ

接以礼勸以義則士死之
侍者于侍ヲ

夫將師者必兵士ヲ
ノ法例ナリ

卒同滋味而共安危敵乃可加シ
將帥ト父也也

故兵有人廉敵有禽囚
トスクト

昔者良將ノ用ニ
敵人ヲモトリコスヘシトナリ

兵有饋單醪者使投諸河士卒同流

而飲單醪下酒之器也小筒酒ヲ入于送者中

是酒大河之上三十个入于下流軍勢

而三軍之士思為致死以滋味之方也

然上毛滋味之已方一以干一余之不借トナリ

軍議云軍井未達將不三言

軍幕未奔將不言倦

是毛陣取之暇幕トトモ不奔時

言亂

大唐大將くもし表ト云我朝三千兵諸軍ト並ニ

雨不張蓋且之細將礼ト

之安ト云危

故其衆一

ニ吞セリケシハ滋味

ハ三軍ト

取之時未水アル在

冬不服表衣身不操扇

浸身及火煖之價千金

實トモ忠ニ煖ヲモ

是ハ皆在嚼詩

人ト女危ト同心

合而不可離可用不可疲 礼正ク安危ヲモ兵
ニシテ皆ニテモ不

離大将ト用イテ モトヨリ 以其間素素由謀素和也 且
息

蓋し謀モ不トモサレテ和也 故曰素由思不

倦以之取カ 息ヲ与モ極ニ不安ト思ワレシ曲ナリ
又少ク息ヲ与レテモ倦セシム人ニ与

軍議曰將之所以為威号令也 号令トハ君ヨリ臣ニ仰出ルルヲ号ト云ク又
カニ号令ト云仰ヲウケテシツク隨ハ君威有ナリ

戰く所以全勝軍政 戰場ニシテクニ在リシツ
カサトリ口ツク人教ヲ分テ

合戦ホノ政ヨ 士之所以輕戰者用命也 命ホト
惜キ物

必信如天如地方可御人 三思一言ニテ有る何
意モ思案有云信トハ

可貴ヲ貴シ得人ヘキヲ討テハ諸人皆邪心也 士卒

用命方可越境 諸侍ヨク主人命ヲ用ル則ニハ
他国ニテモ知行我國人境ヲモ

天偽ナク地逆ナルトナシ其如ク

他国ニテモ知行我國人境ヲモ

コソニ 夫統軍持勢者將統ト種梁スルヤ

トナリ 軍棟梁シテ勢軍ノ棟梁シテ勢

シモラス持ツ 副勝敗敵者衆副勝トナリ

大将ノ法ナリ 故亂將不可使保軍亂將ト思慮

スルトトナリ 一軍トモ大物ヲ持タシムハカラストナリ 乘氣トハムク者ノ多クモ埋シムク者ハ

主余ヲ經スルハ倍々主君夫多ク成シテ 攻城則攻城則

不拔不拔 亂將ニテ敵ノ城ヲセムトモ味方ノ氣思切ニシケ

シハナルニシキナリ又カシトハニカクヨリ又クニシキナリ

通邑則不拔通邑ト城ヨリモニク大方ニ人ノ居ル所

ナリカセツノ在取シモ破リ持カ多ラントヤ

二者无知則士力疲弊二者ト城ヲモ攻ム邑ヲモ

カテス必諸軍ノカク止者

是謂老兵老兵トトシカル兵ト 兵老則將威不行兵老トシテ

大将ノ下知モ合戦 將與敵則士卒輕刑大将ノ威

統ト種梁スルヤ

軍ノ棟梁シテ勢

亂將ト思慮

副勝トナリ

攻城則

攻城則

攻城則

攻城則

攻城則

攻城則

攻城則

攻城則

攻城則

諸軍刑罰ヲシテ
士卒輕刑則軍士
倍下五人ツ
口少思ワスナリ

行アリ是ヲ
軍士初則士卒逃
去のモナク行ツ
供ノ行烈ト云

多キ誘人スル
士卒逃去則敵
柔利ニ則軍
士北クヘシト云

是は文体ニ
軍議曰良將之統軍怒已

而治人
我力必クウコ怒千人能治多ト

施恩士力日新
戰如風發攻如何注

惠ヲ誘度思ヒテ
推量ノ思ヲ故セハ誘軍ノ力

日ニ新ニ交
草木ヲシテ多ク又戰
取大向中

故其可望不
當

可下不可勝
味方トハ又

以身先人故
其兵為之下雄

軍議曰
間カク人ニサキ
味方兵ハ

軍必賞為表
益討為裏

倍下五人ツ

去のモナク行ツ

ヨク聞クナリ

推惠

惠トハ

味方トハ

味方ノ兵サキ

軍議曰

益討為裏

ト裏
賞由討明則將威行大将トモ可賞

トナリ
討軍ノナリ存シ賞罰ヲ明官人得則士卒服

スシハ威勢沐アリテモ行ルトモ官人得則士卒服

女ナレキ者ヲナシハ人皆ウトムス要任賢

則敵国震賢人ニ任ルモ任ラレバ軍議日賢

者必適其前武略ニハモトカユラエル敵ナレトモ故守可下而不奇

可樂而皆賢人ヲ養言ル心ナリ賢人不憂

謀可深而不味方ノ方リトイカニモ密スハシ疑

士驕則下不将侍ナクシテナリ頌

外不大将真意心ナシハ内不ハシ和信

則敵国奮味方謀信御セ從大守ニ疑則ニハ攻伐則致乱

能制勝則抄毎ニ勝ヲカキテ國家安定

夫將者國之夫將者國之命也將

トセメウツト陸ナリ

勝千甲ノ統ヲシメ兵軍ニ

軍議日將能清能

情ヲカキ世制スルモ下ノ心

靜能平能教正能受諫能聽訟能納人

能採言能知國俗能通山川能表陰難能

制軍權是皆武略ノ行ヲ思案スヘキ所ヲ云清

靜カレキ一ヲ清シ舞ナルキ非高ク分別

中ノミメ又聞キ疎ヲキ叶ヘキ詔ヲキ然ルキ

人ヲ招入學ヘキ言ヲトリ山川ノ教ヲカリ陰難ノ

所ヲ多設軍權前記ス如ク軍ノ微權ハ微妙ノ分

コトナリ何モ

故日仁賢之智聖明之慮賢人ノ

思案ナリ

聖人ノ思

負新之言新ヲ負革ノ言ニモリ

業ヲ云

聞テ凡俗ヲモルヘシ

廊廟之詔

先祖ノ廟所ナトシ興衰ノ憂

惣ノ無ナルヲト慕フヲシ

將監聞上件ノ事ニ

分創セテ大國ハ治リカク

大將キクヘキヤ

將者能思士如渴則策從之

渴ト水ウ下後誥軍情ヲ

カク思フ子カウ者ニ所願ヲ与テ

夫將拒諫則

あり可ヤルハクスシハシミシカ名

英雄散 人ノ謀ヲ用ラザル大ハ 策未定則謀臣叛

是皆大心ノ患キリシ云 善トスニ大患ト對シテ 善惡同則功臣僕

善トスニ大患ト對シテ 善トスニ大患ト對シテ 善トスニ大患ト對シテ

專己則下歸各 大将我ヲ專ニメ諸軍ヲ思ヤリ

自伐則下少知 大将我ヲ專ニメ諸軍ヲ思ヤリ

信託則兵離心 大将我ヲ專ニメ諸軍ヲ思ヤリ

貪賊則兵不聚 貪欲ナル大ハハ其テルモノ

内顧則士卒淫 大将淫欲ニシテ廉中計ヲ顧 將有

則衆不服 是又柔對弱淫ノ四ヲ云柔カ始止

有三則軍无式 對ナル心計モツ大ハ

有三則下本北 弱ヲ保ツテハタノモシカ

有西則禍及國 強ナルト好テ非テハ國中ハ

英雄ノムキナルナリ

善惡同則功臣僕

大将我ヲ專ニメ諸軍ヲ思ヤリ

大将我ヲ專ニメ諸軍ヲ思ヤリ

大将我ヲ專ニメ諸軍ヲ思ヤリ

貪欲ナル大ハハ其テルモノ

將有

是又柔對弱淫ノ四ヲ云柔カ始止

對ナル心計モツ大ハ

弱ヲ保ツテハタノモシカ

強ナルト好テ非テハ國中ハ

ヲ兼テ其旨ヲ
軍議日將謀欲密
文法ニテ

士衆欲一攻敵欲疾
然ハカラサル

城ヲ攻テ將謀密則斷心閉
大わノ謀イカモ

士以一則軍心結
諸人一味ノ旨ハ軍

攻敵疾則備不一設
城ヲ攻ルニ相ク急キ又

軍有此三者則計不奪
三ノモノトハ謀密ナ

攻ル疾ト此三者アリハ味カハ
謀ヲ敵ニウラストナリ
將謀世則軍世

勢ニシテヨリカキシ外圍内則禍不制
有テ味ナ

復ラ伺イレシハ 賊入營則與一奸會
大将欲

必敗ニ三者ト將ノ謀モルト外ヨリ
將有此三者則軍

士去ル思テ棄キ大ハ謀ニル
將世勇則吏士恐

内ヲウカウト成營入トナリ
將尤慮則謀

所行思ツ在ルトナリ

臆病は計りしまを歎息し

将兵動則軍重

至下使友者上之信身ヲ云

至下カウシキ大ハ

将逸怒則軍懼

一人ハ

諸人ニイカルル各

軍議曰慮之勇之將之

我カノ上ト云ル也

取重也

一怒トハ今モ之カレ上後思棄シタクラス一勇トハ勇猛ノ度ニシテ三者大ハシモク思之

動之怒之將之取用也

一怒トハ大ハシウキク取用トハ是ノ如ク随テ取用

一怒トハイカル一也

此四者將之明識

四者トハ慮ト

君子ハ怒ヲウケス

勇ト勃ト怒ト血ハ明識

トウキヲカレトシテ上ノ後

軍議曰軍世賊則士

不集

食ハ一日ノ命ニチアリハ富貴セザル軍ニ侍不來トナリ

軍無資

則士不注

賞スヘキ者ヲ愛セザル諸侍シタカイシテトナリ

軍議曰

香餅ノ下必有懸莫重賞ノ下必有

死矣

香餅トハカウシキ上トヨム莫ヲ釣ニハ餅ニカリ人ヲ来ルニハ所領ヲ重クナシテ死ヲモス莫有

故礼者士ノ不敵賞者士ノ不死

礼ト賞ト

車ノ西輪ハ必シ賞を礼ナシハ美理ヲ知者ハヨロコビス
又礼有テモ賞ナシハ命ヲスツル事ナシハナリ
拒其ハ賊敗示其示死則不來者至
是ニ再救シ
礼賞ノスルヲ

行フ大由ニ未ルモ
イカホトモ来リ至シ
故礼而後悔者士不正賞而

後悔者士不使礼賞不使則士死
季季森

礼賞モ一タヒナキ
不使ト悔ルハカラストナリ
軍議曰血師之國勢先隆
ツカシニ

恩取政之國勢先衰長良
先諸竹ニ恩ト政

シ平治ル國ハ
民ヲヤシトナリ
以賞分勝者恩
賞ト公奪

一勝者恩ヲ与ヘシハ子孫
以弱勝強者民也

民ヲヨクヨサタスル國ハ
弱ナシ強ナル國ニカス
故良將之養長士不易其身

良由トヨク大將シ侍ヲ言フ
大由ノ力カスニカスル事トナリ
故能使三軍

如志則言勝可全
三軍ト公七万七千五百人ノ
者ヲモ大由ノ心ハ必シ全

軍勝ニイ
舍ルニトナリ
軍議曰用兵ハ人要必先定示

コキカニ

敵情シ 心シ 意シ 識情シ 上シ 千シ 四シ アリ 夫シ 心シ 三シ 八シ ノ 字シ
 ナリ 夫シ 才シ 三シ 立シ 入シ 心シ 四シ 手シ
 アリ 孰シ 中シ 情シ ノ 字シ フ 石シ 志シ
 藏シ 由シ ノ 必シ アリ 中シ ニ 毛シ 且シ 穀シ フ 入シ 置シ フ 倉シ 君シ ト 云シ 兵シ 具シ
 シ 亦シ フ 庫シ ト 云シ ツ 子シ ニ 見シ 千シ 飯シ 米シ ナ 十シ ト 一シ ヲ リ 此シ 也シ
 ト 千シ 強シ 弱シ 味方ノ強弱 察シ 其シ 天シ 地シ 地陰陽
ヨモ知ヘシトナリ 伺シ 其シ 空シ 際シ 百姓ノ耕作際
千矢ハ必ク知ヘシ天ハ 故シ 國シ 世シ 軍シ 旅シ 之シ 難シ 而シ 運シ 糧シ 者シ 虛シ 也シ 國
根是也

治シ 乃シ 上シ 千シ 糧シ 米シ 也 他シ 國シ へ 民シ 采シ 也 者 虛シ 窮シ 也 采名
 賣シ 渡シ へ カシ ラ ス ト ナリ 多シ 之シ 百シ 姓シ 困シ 窮シ 也 斬シ 重シ 饋シ 糧シ 民シ 有シ 飢シ 也 是シ 也
スル也 遠シ 國シ へ ヤル 樵シ 薪シ 石シ 興シ 突シ 肺シ 不シ 宿シ 飽シ 也 樵薪ト
ハカラストナリ 草シ 芻シ 在シ 陣シ 中シ 木シ フ 切シ 草シ フ 芻シ 也 千シ 石シ 也 飯シ フ 添シ シ ハ
 夜シ 軍シ ナ 十シ 有シ 也 切シ シ ハ アシ ヲ 千シ 食シ 食シ 不シ ナ シ 一シ カ ニ モ 早シ ク
 食シ 也 フ 三シ 也 夫シ 運シ 糧シ 百シ 里シ 無シ 一シ 年シ 食シ 二シ 百シ 里シ 也
ラ上ヘキナリ 二シ 年シ 食シ 三シ 百シ 里シ 也 三シ 年シ 食シ 四シ 百シ 里シ 也 食シ 莫シ 謂シ 國シ 虛シ 也

是未^レ他国^{（キミ）}に事^{（ス）}を^{（シ）}スル^{（ル）}者^{（ナリ）}。國^{（クニ）}虐^{（シ）}則^{（シテ）}民^{（タチ）}貪^{（ム）}。

則^{（シテ）}上^{（ノ）}不^{（レ）}親^{（ム）}。百姓^{（ヒト）}困^{（ム）}窮^{（ム）}死^{（ス）}シ^{（テ）}生^{（ク）}シ^{（テ）}。敵^{（トク）}攻^{（ム）}之^{（ヲ）}外^{（ノ）}民^{（タチ）}。

盜^{（ム）}其^{（ノ）}内^{（ノ）}是^{（レ）}謂^{（フ）}必^{（ズ）}貴^{（ム）}。國^{（クニ）}虐^{（シ）}上^{（ノ）}必^{（ズ）}他^{（ノ）}國^{（クニ）}ヨリ^{（シ）}賊^{（ム）}。

軍^{（クニ）}議^{（ス）}曰^{（ク）}上^{（ノ）}行^{（フ）}虐^{（シ）}則^{（シテ）}急^{（ム）}刻^{（ム）}。是^{（レ）}大^{（ニ）}凶^{（ム）}也^{（ナリ）}。

夕^{（ニ）}屠^{（ル）}下^{（ノ）}庸^{（ノ）}虐^{（シ）}上^{（ノ）}欲^{（ス）}ハ^{（シ）}上^{（ノ）}也^{（ナリ）}。賊^{（ム）}歟^{（ナリ）}重^{（ク）}殺^{（ス）}刑^{（ト）}。

四^{（ノ）}討^{（ム）}無^{（ク）}極^{（ム）}民^{（タチ）}相^{（シ）}殘^{（ム）}賊^{（ム）}是^{（レ）}謂^{（フ）}亡^{（ル）}國^{（クニ）}。再^{（ヒ）}討^{（ム）}之^{（ヲ）}。

軍^{（クニ）}議^{（ス）}曰^{（ク）}内^{（ノ）}貪^{（ム）}外^{（ノ）}廉^{（ム）}。

詐^{（シ）}取^{（ル）}名^{（ヲ）}。是^{（レ）}諸^{（ノ）}侍^{（ノ）}之^{（ノ）}患^{（ム）}也^{（ナリ）}。内^{（ノ）}貪^{（ム）}外^{（ノ）}廉^{（ム）}。

竊^{（ム）}公^{（ノ）}為^{（ル）}自^{（ラ）}令^{（フ）}上^{（ノ）}不^{（レ）}昏^{（ム）}。

飾^{（シ）}躬^{（ヲ）}正^{（シ）}顏^{（ヲ）}以^{（テ）}獲^{（ル）}高^{（ノ）}官^{（ヲ）}是^{（レ）}謂^{（フ）}盜^{（ム）}端^{（ヲ）}。

盜^{（ム）}之^{（ヲ）}正^{（シ）}而^{（シテ）}不^{（レ）}先^{（ニ）}知^{（ル）}世^{（ノ）}執^{（ル）}力^{（ヲ）}也^{（ナリ）}。

盜^{（ム）}端^{（ヲ）}十^{（ニ）}一^{（ノ）}盜^{（ム）}端^{（ヲ）}ト^{（シ）}ス人^{（ノ）}ノ^{（ノ）}心^{（ヲ）}ト^{（シ）}ヨム^{（ナリ）}。

軍議曰群吏朋黨各進所親群吏トハ侍臣トモ

友ノ者凡徒黨少々ヲメ叙テラ招奉其母在

ルイヨ招キ抑挫仁賢 仁ナル人ト安ルル下 其其

私同位相訕是謂乱黨我威勢ヲ奪又同位也

軍議曰強宗聚奸世位而奪威世宗震威勢ヲ奪又同位也

宗ヲユウワトハ位モナキ者貴キアリラ葛黃相連

種徳立首心奪在位權葛黃トハウラスカツラヤリス

ノリ由テ今舊代王代人今ノ在位ノ權柄ヲウケテ言世宗ノ威アリ 侵侮下民國

内諛諂臣敢不言是謂乱根下民トハイヤシキ者侵侮リ在

軍議曰世之作奸復而道流不レ代主人ハ中

盜賊官世トト世中ノ者新トハカクニシキ

進退不便委曲弄文以危其君是

謂國斯 トト退トスニルモ退クモ我ニ任セリヨカト
便ヲ求メ文ヲシテ千若ニ教テ志心ヲ危ク

スル國ノ好シ 軍議曰吏多シ民實カ尊卑相
國ヲ非ラシマ

若 吏ト吏友ノモヤ各主代友イトノ位ノ者ナシ首
姓ヨリスクククク然テシ吏多シ民少クメタルト

強弱相屠 莫適其樂
ナトカニハリナト其樂

延及君子國受其俗 延テハノニヤ
ト云ムシ據

籍ノ者ヲクセカスハ聖人君子ノ上ニテモトリコニセ
ラシテ他國ヨリノトカニエテ破ラレトナリ

軍議曰善是 不進 惡 不 退 之モ皆惡キ
トシ云善ヲ

善惡混 亂 上 賢者隱 故 不肖 在 位 國

受其害 トル 國 軍議曰枝葉未淫 大 比

居 周 邦 徒者ノ親 親 其枝葉ノ茂 比 周 周

卑賤 凌 貴 久而益 大 上 不 忠 務 國 受

其 敗 是 殘 下 元 下 者 貴 人 ヲ 凌 テ 久 大 權 柄

ヲトト主合リ發セラレテ國敗トスル

貴王凌下、夫人ノ軍議曰、侍臣在下、二軍
ニ子ヲスル事ナリ

皆訟、侍人ト人ヲシリシ去シテ者、カマシ
臣ヲ近付シ、侍人不可然ト云、臣ルナリ

引、威自、動、連、於、衆、威、勢、ヲ、吾、力、ト、動、シ、
モ、侍、人、存、ル、ト、同、セ、ス

每、用、シ、ム、ノ、無、進、也、退、一、然、今、毛、を、人、ス、
動、ク、名、衆、遠、ト、也、惡、者、重、シ、モ、退、ス

皆、侍、人、ノ、苟、然、取、容、苟、然、ト、シ、キ、白、心、答、
口、ナ、リ、取、ト、心、ヲ、ナ、シ、ト、シ、

專、任、自、己、我、人、ニ、カ、ル、舉、措、伐、功、吾、力、
リ、功、ヲ

申、ナ、リ、上、ノ、功、ヲ、誹、謗、風、徳、
ソ、ク、ナ、リ、ナ、リ、評、述

庸、危、國、中、次、ノ、用、卿、言、善、口、先、惡、皆、
ナ、リ、先、月、也

同、善、惡、人、ヲ、
皆、不、用、也、
誓、留、行、夏、今、不、通、
ナ、リ、
ナ、リ、

得、代、政、ヲ、
主人、今、方、人、不、通、上、下、乱、体、
造、作、苛、政、
ナ、リ、
ナ、リ、

變、言、易、常、
昔、ノ、
苛、政、ト、
ナ、リ、
ナ、リ、

暗、カ、
君、用、侍、人、必、受、禍、殃、
禍、殃、ト、
ナ、リ、
只、聖、人、賢、人、
ナ、リ、

ツクニ侍人ヲ許
容スヘカラストナリ
軍議曰奸雄相称障蔽主明

奸雄トハカクニシキ者ナリアイ我コソノ良雄ノモト
称ニカクケリメアリ障蔽トハサワイトヨムナリ

毀譽並立與壅塞主聰
毀譽言トハ名譽
壅塞言トハ名譽
主聰言トハ名譽

各阿私私人望主生德
各阿私私人望主生德トハ何
主生德トハ何

故主察果
主人ノ忠ヲ失フ人主失カト云也
故主察果トハ何

言方觀其萌
是主人ノ心朽シトニカクニ主人ノ
心程ニ何ルモアル者ナシハ奇異ナル

言ヲ劣ナ善人ト悪人トノ心ナシトシ
察スシ公善ク思フキサスモアラズト云也
主聘儒賢トハ

奸雄乃將
儒賢トハ儒者良人ノカウノ者物
ト云也

主任旧業
主任旧業トハ事乃理ト云也
主任旧業トハ事乃理ト云也

主聘山石
主聘山石トハ主乃得賢ト云也
主聘山石トハ主乃得賢ト云也

謀乃負新功
謀乃負新功トハ可
ト云也

述
述トハ可ト云也
述トハ可ト云也

不^レ異^レ人心^ヲ眞^ニ乃^シ洋^ノ盜^ス 最^モ初^メヨリ一^ニ味^ニ同^シ心^ヲナ^シハ
リ^テ洋^ノ盜^トナ^ラズ^シ 每^ニ更^ニ功^ヲナ^スス^ル文^ノ体^ノツ^クノ
アリ^テワ^ルト^テ後^ナリ

五略卷之上終

○黄石公五略卷之中

夫^ニ三^ノ皇^ノ無^ク言^ハ而^シ化^ス流^ル四^ノ海^ニ 三^ノ皇^トハ^シ牧^ノ犧^ノ

此^ノ時^ハ上^ノ代^ナル^ヨリ自^ラ道^ヲモ^リ收^メリ^テ化^ス四^ノ方^ニツ^クナ^リ
化^スト^ス人^ヲ化^シシ^キヒ^ク化^ス若^ク教^化モ^ル方^ナク^シ海^ニ
ト^ス東^西 故^ニ天^下无^ク所^ニ敵^ナク^シ 君^ノト^スク^ニ臣^トナ^リ功^ヲ
南^北イ^ハズ 天^下ヲ^シ申^上者^トナ^リ

帝^者解^リ天^ノ則^ト也 帝^トハ^シ五^ノ帝^ノノ^ミ五^ノ帝^トハ^シ
帝^トハ^シ三^ノ皇^ヨリ少^ク及^バズ^ク賤^クナル^間天^ノ后^ニシ^ム
カ^ク又^ク故^ヲ取^リ取^リ行^ハイ^テ地^ノ行^ハハ^シ取^リ変^化シ^テ名^ヲ名^ス

有言有以而天下太平

言ヲウケテ号人今ナシハ
思フヲナクハ法度ヲ
カシユツリテ四方

才ニカ行下
天下太平也

君臣讓切四海行

君ハ臣ニ恩ヲ与臣ハ
君ニ忠切ヲ至有身ヲ

カシユツリテ四方

百姓不知其所以然

是モ君ハ臣
三思ヲ与ハ

政行ヨリトナリ

臣ハ知ラズイタセトモ民其心ニモ

故使臣不待礼

モトツカセシ者ニ任テ以テ不知任

賞有功表而无害

臣トモ礼ヲモ賞ヲモニタス
功ヲイツクニタケ害セズ

王者制人以道

王者トハ人王トキ夏殷周ハ代シ
禮ニ三皇五帝ヨリ於水才ニ未世

ニキルガハ治シテハシハシテノニナシハ善悪ノ人ヲユトヨレ
法及ニソムカヌヲ本トシテ重ニスルトナリ

降心服志設矩備襄

心ヲ一ニクタル志ヲ諸人ニ
アタヘテは及ニ襄ヲ括ニタ

四海會同主職不廢

四方ノ人ニ心ヲ
合テ主位ヲ也 雖有甲

兵之備而世之禍戾

兵ヲ矢ト云ルヲモアリツ
正トモんヲ以テ也

千スタカウ患ナシ

君世契於臣之先疑

トイサカイメカウナリ

於主

國定主安臣以義退

君臣ノ道ニキリス
年ニ心ヲ改メル上

國家安寧ニ主人安穩トシ臣モ亦能美而世害

切又各遂テテ世ヲカレシイ伯朝者則以權イ伯辟イ伯

何ルモヨクツクシク夫イ伯人ヲモカシモ害スルナシイ伯披政用白ノムシイ伯

未我朝ニモシラス大唐ニハ王ヨリ下自ノ主ヲ伯者トテイ伯

結學以禮物ヲ秩令シテスルヲ使以賞イ伯使ハ

取願ヲ信其則士臨イ伯賞イ伯士不用イ伯主欲スルナシイ伯

用イ大軍規云出軍行師將有自專イ伯是皆

器用イシヤシムニテハ進退内御則功難成イ伯

軍ヲ進人退スルニ處中ナトヨリ計軍物カ曰

使智使勇使貧使愚善惡ヲ用テ時自用イ伯

シ武界ノ智者樂進之功イ伯智者ハ物ノ功ヲナスヲ

最下トスルヤ本ト大短慮ナシイ伯ナリ学ハ詩人最初トシ武界ハ第一

学之ナリ文武ノ車ノ兩輪ナリ勇者好行イ伯

其志ツ勇猛ツ也ツ余ハ之レ惜ス也ツ思ハスツノ志ヲ三レ念ス

貪ハ者ハ邀ヒ趨ル其レ利ヲ貪ハ者ハトハトシ歎キキレノ

治シタラ公ノ領ヲ得シ由リ利ヲトシカキイフト

攻メタシテハ亂ル合カラシ物ヲ下カイウシテ公ノ

退キテハ其レ至ク情ヲ用フ比レ軍ニク

微キ權也者ハ心ヲ隨フ用ヲ微キ權ト云フ軍規誓

與シ使ハ弁士談説敵義味方弁士古異ノ者ヲ

事ヲカシトメ為シ其レ感歎味方弁士古異ノ者ヲ

无シ使ハ仁者主義仁者每歎シテ成シ為シ其レ

多ク放テ而シ附テ於テ下ニ軍規誓

巫祝不得為シ吏士上向軍ト吉言巫祝トハ

卜ト千ノ物ヲ吉言ヲウテキ者ヲ在陣敗進ツテ吉言ヲウテキ者ヲ在陣敗進ツテ

拙也ツ笑フ者ハ攻メテハ三レ千ノ語ヲ三レ語スルモ十ノ十リ

変シテカクウテ者ハ歎キシ連

愚者ハ不顧其レ死ヲ愚者不顧其レ死ヲ

至情ト云フ者ハ心ヲ隨フ用ヲ微キ權ト云フ

歎陳ト云フ者ハ古異ノ者ヲ

心ヲクシテ成シ為シ其レ

凡下ノ者ハ氏ホトスニシ

巫祝トハ

吉言ヲウテキ者ヲ在陣敗進ツテ

軍規曰使義士不以賊故義者不為不仁義

義理ヲ存レ侍ハ敬心ヲシテ守リテ凡者止ハ情ヲ去テ
テ成クモ与フ人ニシテ人ヲニシテ又ニ為ニ義ヲ死

智者不為闇主謀 智愚ノ主賢リサハハ世ニ
上チカク姓アリ況ハ智生

危者学文ヲメテ上ニ思棄スル一闇主遠

万闇主ノ思棄スハ智者ハヨク勿論智者ノ思

棄ニ思棄スハヨク 主不可以先徳ハ則臣救

父別ノモノ 先徳ハ則臣救

先徳ハ則臣救 先徳ハ則臣救

先徳ハ則臣救 先徳ハ則臣救

本可以世威ハ則失権 勿論主人威勢ナク
大ニ誰ニ威勢アラシマ

主人ヲ修威勢ニモナシテ又相在ノ権

柄者有ハシ主人ハ威勢志ハ在者権柄ヲ失ストナリ

臣不可以世徳ハ則无以事君 臣モ亦モ
真加シテ

祈干政トトルモ生ツク世ハ勿論 臣モ亦モ
真加シテ

真加シテカカレハ主人位ハカカレハ 臣モ亦モ
真加シテ

則國弱威多則身歟 臣モ威勢ナシハ國ヲ治
シカケカケテ國ニ誰ニ他

國ニモ知行ノ威勢ノハ國ニモサナク又威勢ノハ

主人對世モ亦モナリ終ニハ力ニ成テ又生来ナリ

敬聖主御世觀成盛衰度德失而為之制

聖人先人せし治るに我もシユラス臣もシユラセヌホト

恩下情ヲカクルを臣ノ分際ノ制トシテアルト見レ

ハ損ス失トスレハ急可ト上下セシ故諸侯二師

世ヨリニシヤルヲ聖人トハ云ナリ

諸侯ト云テハ國人十ト云テ威ノ有人シ二師トハ

二軍ヨリニ千人ノ大ナル程杖打スヘ其上ハ方伯

其ハ天子ナリ方伯二師方伯者ホモアリ先集

衆トシテ云々ナリ救用自任ノ人ト云

權柄ヲトル人ト云々三軍トハ三万七千

且百人ノ棟梁ホトノ取テ成ル

天子二師

六軍キ七万五千人ノ大將ニテ諸侯方伯ノ天子ノ如應

上見テシテ又國ニ隨而似合ニシ此ハ將ニテ禁衛

ナシハ何ノ自壞世亂則叛逆生

三ノモ治ルトナリ

者逆ナル者出采間イカ王澤竭則盟誓ナ

ニ七分限ニモ重ク采有ニ

誅伐

トナリナリナカフモノカヤウニナカイヲナシタル

アリモ天子ノ有ルニテ政道

ツギモ年ヲ打ウモモノナリ

德

真同執敵則世

又ナリ君臣ノ間老別ナクメ公政及行シテ臣ト

スナリ

大君ニテ名ヲ取テ敵國ヲシテカクムケスト云フ

乃擊其英雄之心与帝同好惡而後加

以權變トモ取初ノ文体ト同權變ト武終

化ノ如好ニキ一モ元ト同心也思ハ

加モハ變化ナリ 設非計策世以決嫌

定疑ナシ嫌疑ハウカイ物ノウカハニキヲ公策ヲ以テ

非譎奇世以破女姓自冠ナシ福奇トイハリヤ

心主人カ女ハ志ニチモ叶スルニノ變化

人ニテ人心ヲ知ヘキヤ好キ女ト冠ヲナントスル

者イッリノ言ヲ以テ 非陰謀无以成功ナシ

トトノムヲシトナリ 聖人躋天賢者有地

カクニタルカカリト云々平ノ 聖人ト云フ

印ヲナスルカカシタ武略也 聖人ト云フ

變化ト春ハ困ニ夏ハ疾ニ秋ハ死ニ冬ハ寒ニ

此變化ハ形カチルモノナシ 聖人公私モナク

ニ達セズ民略ヲ天体スル賢人地也

且穀生長ノ多クニ是モ私ナシ 聖者師也

三比少クヨク化スルヘシトナリ 是故ト云フ

師ト云フ 是故ト云フ 智者ハ

ルトナリ 是故ト云フ 智者ハ

古トナリ 是故ト云フ 智者ハ

古トナリ 是故ト云フ 智者ハ

古トナリ 是故ト云フ 智者ハ

古トナリ 是故ト云フ 智者ハ

古トナリ 是故ト云フ 智者ハ

畧ヲ作垂千古ノ口トロ
略設礼賞別新

雄者成敗
略ノ義別シ云ニ略ノ分矣将ヨリ法
人ニ礼ヲナシ貴ヲホトユスモノハ所ニ法ナ

臣任キイリシニメ奸キ者ト云英雄ノ
中略者徳行
者トシカチ敗スル道ヲ人ナリ

審権変
君臣ノカニ徳ノホトシシテクニ定メ
下略
天地ノ變化ノイリカキヲカニスルヤ

陳道德察女尼明賢
各
道德トハ
仁義礼智

信人
世ノカヤノト也スキトシサシ
故人主深
賢今ノカチ各ヲ略ニカカシタリ未知シ

曉略則能任賢
擒敵
人主カレトニチノ略ヲ
サトシ以テニモナリカチ矢

ニモカツモノナシハ敵
深曉中略則能御將
統衆
トリユニスルト云ナリ

中略ヲヨク心得ヌシ矣物カ
深曉下略則能明
るヲ胸中ニ治人無ク棟梁カ

盛衰ノ源審宙治國ノ紀
不略ニハサカニテルト
ヲトロフルトトシ目カ

ノカチノスハヤ
人臣深曉中略則能全功保身
ニテモトヨリシルヤ

上略者大将ノカチヲアリス中略者君臣ノ間カチ
アキテムルカ人臣カ者ヨメ中略ヲ心得ヌシハ云云

切テ金太生 夫高鳥死良より截敵國滅謀臣

七 良よりトヨクヨリ封るト文唐ハ飛鳥ヲ封ヨト大同

七 欲悉ク滅テ極ハ策アル位モホロフトナリ

喪其身也謂奪其威廢其權也

封之於朝極人臣之位以顯

其知 其知 其知 其知 其知 其知 其知 其知 其知 其知

中州善國以富其家

中及ト父唐ハ中華國ト云フ下略ハ中及ト其謀以

養名环玦以說其心

夫人衆一合而不可卒離

威推一与而不可卒

移 大將其外評定之又當獲代ト云下 世祖ト云

假人代友ホ兼テ器用ヲエラヒテ名仰付ラシテ

切テ金太生

七 良よりトヨクヨリ封るト文唐ハ飛鳥ヲ封ヨト大同

七 欲悉ク滅テ極ハ策アル位モホロフトナリ

喪其身也謂奪其威廢其權也

封之於朝極人臣之位以顯

其知 其知 其知 其知 其知 其知 其知 其知 其知 其知

中州善國以富其家

中及ト父唐ハ中華國ト云フ下略ハ中及ト其謀以

養名环玦以說其心

夫人衆一合而不可卒離

威推一与而不可卒

移 大將其外評定之又當獲代ト云下 世祖ト云

假人代友ホ兼テ器用ヲエラヒテ名仰付ラシテ

又卒に於て遠く還師罷軍存亡之階敵に他國

其儘兵具ヲ手油以テスル存亡之階故に以テ

位奪す之以國油以テスル位モヨクナリ是謂朝

者之畧西朝者トハ略作スル時カハ霸王ト云ハナ

七雄戰國ナトトテニイリシニテ畧イヤ故西朝者之

作其論駁氏略不空ナルヲ存社稷羅

莫英雄者中略勢社ト主ノ神ニ稷トハ穀トシテ

威勢有又英雄ノ多クシテスラテチヲクハ故世主

秘書世トノアルニ中略シ

黄石公三略卷之中終

○黄石公五鹿先生下

夫能扶天下之危者則據チヨル天下之安

上書ヲウケキ書タリ天下ハ人ノ天下ニヨラズ則

チト天下ニハ吾人ノヤウキヲ危カラスタスルモ

笑下女後能除天下之憂者則享天

治チ平ヘイ居キ下カナリ下ノノ樂ラク

慈悲心ヲ專ラ能救天下ノ禍者則獲

多ク文章ナリ

天下ノ福ニ皆同ガリ故澤及於民則

賢人帰之沃者是モ上ニ書シルレ必ズ思ハズ

人聞クヨリ故服スル義朝ノ天子モ此心ヲアソヒタレ

歆ニ奥山ノヲト呂ガ下モフニ分ク有ル世ト人ニシテ在ル

トトカウノ澤ニ及ル昆蟲則聖人皈之聖人賢人

者トハキイハキ虫ノ上ニアリシニ有ル世ト家ニ在ル

聖人ニテモ在公ヲチカフ也昆蟲トキイハキ虫ナリ

賢人ノ故ハ則チ其國強賢人アリトキケル也國ヲ

聖人ノ故ハ亦ハ合同六合ト分カルト地ト治ル也合事ナ

六合ト分カルト地ト治ル也合事ナ

六合ト分カルト地ト治ル也合事ナ

未賢ハルニ之德ヲ賢人上聖人下所好別之賢人ハ致ス聖ヲ

以道シテ賢人ハ好ム賢人去則國微ハルニ賢人去則國微ハルニ

微弱トハ聖人去則國卒ス聖人去則國卒ス微弱者ハ

危階ハ危ク卒者亡微ハ卒者亡微ハ國皆亡ル

賢人ハ政降ル以テ外ニ赫ス賢人聖人ハ政ヲ上ルカシ

聖人ハ政降ル以テ心ヲ以テ心ヲ聖人ハ政降ル以テ心ヲ

リ人ヲ化メテナルキヤ政降ルスルニ赫降ル可以シ始メ

トハツクル心ヤ人ヲツクルナリト體ト心ト人ヲツクルナリト

少ニ有ル大終ニ治ルキヤハ聖人ハ心ヲ降ルスルニ終ニ降ル赫ス

禮ハ賢人ハ外儀ヲ本トスルニ終ニ以テ樂ヲ一ニ謂フ樂者

非金右絲竹也ト示トイハ官弦ヲトシテ是ノヨリ

謂人樂其家ト國中女穩ニ聖人ハ政ヲ

謂人樂其族族ノ 謂人示其業業ヲ

謂人其都邑都邑ノ 謂人樂其政令政令ノ

謂人樂其政令國中静カハ初クヨリ人皆学ス

謂人樂其道德仁義礼智信ヲ

如托君人者乃作樂以節之節ノ

使不在其和主人タル人ハ必ク國ヲモ家ヲモ治テ諸

故有直息之君以樂之聖君史王ノタメニ人

無德之君以樂其身徳ナクシテ生ケル君我樂シ

樂人者久而長樂人ヲ悦ビテ人ハ久シク

釋近謀遠者方无功是ハ廢

釋遠謀近者供

有終遠近ノ事ヲ 取終終ニ至リ 供政多忠忠ニシテ

シカレハニ供ハ安ニヤスレトヨムナリ

業ヲ示ス

業ヲ示ス

政令ノ

徳ヲ

節ノ

諸

人

樂シ

久シク

廢

供

忠

臣帝政多ハシ怨民ヲ

供政ハ善美政ニシテ忠節ノ臣多クハ臣帝政ト近シク遠ク

怨民トハウラミノ民ナリ

故曰務ヲ廣地者ハ甚ニ以テ務ル

廣直者ハ強ク

強ク子カウ者必又強ナリト云フ

能有ク其ノ有ル

者安貧人之有者ハ殘ニ

人ヲクモツト貧者殘ニテ子カウト云フ

殘滅政田系世受患ヲ

殘滅ト云フニイハレト云

造作シ割難ニ成ル必ズ敗ス

造作多ク多ク成ルニシテ必ズ敗ス

今ニ已ニ而シテ教人者ハ逆ニ

我カヲヨク造

心ヲ得テ人ヲ教ム者ハ勿レ論ズ也ハ乃チ人ノ分リ教シハ逆ナル也ナリ

正ニ已ニ而シテ化人ス

者ハ順ニ

己カヲシテ人ヲシテ

逆者ハ亂ニ也ナリ

順者治メ之ノ要也

順ハ治メテハ必ズ成ルヘキト云フ

道ハ真ニ仁ニ義ニ禮ニ也ナリ

道ハ真ニ仁ニ義ニ禮ニ也ナリ

是レヨリシテ此ノ五ノ者ハ体也

道者人ノ心ノ所ニ在ル也ナリ

油断を分三ツ大身ヲ残テ者ナシハ
徳者人々ノ得

三千六百ノヲハ辨モ油断スヘカラストバ
徳ト云ハ己ニ時
仁者人々ノ所親
仁ト云字ニ地人ヲ
合タル字ナシハ笑

地ノ如ク私モナキヲ仁ノ名トス
義者人々ノ所尊
義ト云
云ハ云

ハキ一ヲ云貴スヘキヲ貴シ爵スヘキヲ爵ス
礼者人々ノ所
皆是義ナシハ人ノヨロシキ所ト云メタル言ナリ

所尊不可與之正
人ノ先体カ所要タル者ニモ
ナリシハ有カラストハ仁義礼ノ

故以與夜寐礼之制
是實非理

寧^居屋^ノカニモ夜中ニヨキヨイハ
討賊報讎義之

決^決ト云トナリ
惻隱之心仁ノ發
惻隱ハ

カクストヨム人ノ愚ヲイタカクスヲ仁ノ
得已得人直之

路^是モナキニ
使人均平
ヒトヒクタイニカナリトヨム諸人

不^不失其^其道^道ニ化
フムモ取ヲアムマウ

出^出君^君下^下臣^臣右^右日^日命^命
是ハ余ト人宗

ノ化ト云ナリ

ヨリ臣ニ仰付
施於舟車帛名曰令昔行ニシ
元一ノヲ余ト云々繩ヲ結テ

ノ文字ノ如クニ物未シ定テ指
竹中ノ後ヲ用テ指紙ヲ手出カレ
奉而行之之者

政信トメ君ヨリウケテ夫命失則令不行大徳

トヨサ失スル時代ニハ古カ
サレテハ控用ニテトヤ
今不行則政不正古サ

サハヨクハシキハ信トメ取行ニツリ
ナシエソクタニシカラストナリ
政不正則令

不通政サハムニシカラテハ道不通則邪臣勝

石ト云フナカレ
邪臣勝則主威傷邪ナル臣ニ
オシハ邪臣ヨリオシハ主人威

勢悉ク
千里迎賢其路遠致不肖其路近

賢人ヲ尋シハミテ遠不肖ナル者ヲ尋シ
イクテモ有ルモ遠ナカレバオシハ遠キ也
是以明

主令近取遠明主トハオシカラレバ邪聖人
ノ近キ不肖シキテ遠賢人今用ト

故能令知尚賢而下書帛遠キ賢人物トシ
ク全シ百姓ホシキモ悦テシムカ

業ニナカラシツクストナリ
教一善則效善業

善人猶多也至平人善人

賞カ而惡ク則レ衆ク惡ク歸ス

悉ク資シ我ノ力ノ上ト表スフリ

惡人独リモ恩賞ヲ受クル類シバイクタリモ

惡人面白ク存ス大ノ敵ヲ服スルトナリ善者得ル其ノ祐ヲ

惡者受ル其ノ誅ヲ則レ國ノ安ク而レ衆ノ善者至ル

ルヨキキヤ
ハタスヤ

衆ノ疑ム無ク定ム國ヲ

衆ノ疑ム無ク定ム國ヲ

衆ノ疑ム無ク定ム國ヲ

諸人君ヲ
疑ム縁

七ノ國ヲ治ス或レ無ク定ム民ノ疑ム定ム或レ還ル國ノ乃チ

治ストシ

可ク安ク

ワカズキヤ一ウカガハケルニ定リニトクハ
ニトナルニ却テ國安穩ナルニナリナリ

一ノ人ノ言ハ則チ

百ノ令ヲ失フ

二通ノ書ヲ用スル
アヒ百通ノ書モスル上

一ノ惡ヲ施ス則チ百ノ惡ヲ結ス

惡者一ノ言ヲトシモシスル百ノ言ヲ

惡者一ノ言ヲトシモシスル百ノ言ヲ

故ニ善者施ス於テ類ノ民ノ惡者施ス於テ

凶民則チ令ヲ行フ而レ無ク怨ム

必ズ凶民ニヨクアヒニシ
ホトニシ凶ナル民ニハ刑罰

加ルトシハハ望ム行フレテナシ

使シ惡者治ス惡者是レ謂フ逆テ天ヲ

下ニウラミ
シハ恩

使シ能ク治ス能ク其ノ禍ヲ

下ニウラミ
シハ恩

不レ救ム

アタタモ恩ニテ報スル方チニ能失ス
能シアタニテ報スルハ福ニナルトヤ

治ス民ヲ使シ

平平民民治治トト世世致致平平以以清清則則民民得得平平

取取而而不不寧寧
民ヲヒトシカラシメテト思ハ主人ノ命
イサキヨク世ヲシラス大憐ミアラズ民

是是皆皆思思世世人人之之體體也也上上之之人人ヲヲ托托之之スス賤賤者者富富
毛在所ヨサラスメ
トトモ女陰ナリ

雖雖有有聖聖王王不不能能致致其其治治
聖王ノ力トナモ
悪人ヲ治メズ其
カヲナシテ人負歎ノキ言夫ナリ治世ニアラセ九ナリ

犯犯上上者者尊尊貪貪鄙鄙者者富富
犯上者ハ上ノ命ヲヒトシテト思ハ主人ノ命
イサキヨク世ヲシラス大憐ミアラズ民

犯犯上上者者誅誅貪貪鄙鄙者者拘拘則則化化行行而而不不政政ナリナリ

刑刑之之不不可可以以威威刑刑者者
威刑者クテニテ人刑得ヲ以テ
即人ノ命トシト案理ヲ存信ナリ

清清白白之之士士不不可可以以爵爵

祿祿得得
使シカケテ爵祿トテトニテ人
節義人

士士不不可可以以威威刑刑者者
威刑者クテニテ人刑得ヲ以テ
即人ノ命トシト案理ヲ存信ナリ

故故明明君君求求賢賢必必視視其其所所以以致致愛愛

志志再再囑囑之之清清白白之之士士修修其其禮禮
志再囑之清白之士
禮ヲ修メテ節義人トシテ

致節義之士修其道而後士可致名可保

之好ニシテカツキアツカレシハ其徳トモ
我志ヲアラスニシテ名ヲ持ツニシトナリ
夫聖人君子ハ

明盛衰之源物ノチカニルキ一ヲト
通成敗

之端賞罰ヲアキ審治乱之枢治ルキ一

之統心トナソノ節ヲシルヤ知去就之節人ノ去キ心得ト思ヒツク

雖窮不處亡国之位亡国トホホル国ヤ

亡国之位シラストナリ雖貧不食乱邦之禄乱邦ト

国トヨイカニ貧トイハ心有者ハ乱邦潜名抱

道者道者取至而動則極人臣之位ツカク名モカク

之者ク者ツイ人ニシラシメテ叶ハズ取ハ名出サレ
モナリシニシテ必カク持位ニ任スルトナリ
真心カマフ

於已則建殊絶之功名代ニ不遇メ名カクシ

之シテ虚叶ノ權柄ヲトシハ殊絶ノ功ヲタツルヤ其位
ノ切トスル名切トヨシハ忠節ノ切ヲトクルナリ

故其道高而揚名於後生二臣切ヲクツルハ

名も後生ニ 聖王之用兵非樂之也將以誅レ

暴討亂ハ 欲心ニシテリキ 矢ヲ用ニテテ 暴惡ヲ

クメシ討モ得モ 夫以義誅不義若決江河而下

既燭火既不測而拊欲墮其克必矣カウヒツセリ

是ハ中ニモモ 義ノ 明ク 義ヲ 方ヨリ不義ナル方ヲレ

矢ヲ用ニテテ 誅ル 夫河ノ水ニイロリノ火ノ 矢ノ

ト後カラヌ 所以優游恬淡而不造者重傷人ニ

物ハ 優游恬淡ト永ノキカナル白ク 不レ 造ル 者ハ 重傷人ニ

夫立者不祥器也ウツハモノナリ 天石惡ム

イハレニハ遠スル者ナシハ 不得已而用之是天道也ヤイラ

イハレニハ遠スル者ナシハ 夫人ハ 在道ニ

スチラル、方エソ 取ニクルル 夫ハ 在道ニ

若魚在水得水水生失水而死人ハ石ヲ失フカガ
ス何ルモ只道

三子去程ニ有テ一子
更ノ水ニ有ルクニトフナリ故君子者常畏懼君子タル者ハ石ヲ失ハレ故ニ君子タル
常ク其タルヲ多クシテ間凡人ナリ

而不敢失道君子タル者ハ石ヲ失ハレ故ニ君子タル
常ク其タルヲ多クシテ間凡人ナリ

豪傑乘載國威乃弱豪傑ト云ハルニ威勢アリ
此モ云カウノモヲモ護

職十ト一也之國ノ在セシヲ学至殺至主在豪傑終ニ他國ヨリモ然弱キ國トナル者ヤ
是モ同意ニ人ヲ殺モ資モ有行人ノ使ナシハ

國威乃竭是モ同意ニ人ヲ殺モ資モ有行人ノ使ナシハ
カウノ使ヲ豪傑ナル者行ハ國威ツル

豪傑低首國乃可久世々上首ヲウケテ世々
シテ何モ傍ハセハ國ノ久

殺生在君國乃可安思人ヲミレルモ善人ヲ賢ニ
一モ君ヨリ係付ルニ國安穩

四民用足則國乃無儲四民トハ士農工商ニ法
依シ農公民ノ業ニエタ

高高クモ人シ世四ノモ
今シテハ國ニ方々クハナレト四民用足國乃安一モ

集賢臣內則邪臣外賢人ヲ用ルニ世ニ邪ナ
ル臣ハスナラズモノナリ

邪臣內則賢臣邪ナル臣ヲ用ラレバ
賢臣ハタラズ內外失内外失

天正十九年辛卯十月吉日書之

都甲内入道好文居士七十五歲

麟木

十
二
〇



丁未
書

